

お元気ですか

南 恵子

です

ニュースを読んでご
意見をお寄せ下さい。

区議会議員

南 恵子

TEL 3790-1523



発行責任者 日本共産党品川区議会議員 南 恵子 八潮5-12-65-503

メールアドレス minami@jcp-shinagawa.com

大森駅水神口 自転車駐輪場 100台増設に 12月めどに工事着工 区議会建設委員会

7月1日の建設委員会で、品川区が大森駅前自転車駐輪場を100台増設する計画を明らかにしました。昨年来の住民のみなさんの運動が区を動かしました。

駐輪場問題などを担当する課長が4月以降替わりました。新しい課長の説明は、駅前周辺の放置自転車が増え続け不足しているので、大森駅水神口等駐輪場の拡幅工事を行い、定期利用、当日利用分合わせて100台分を増設する計画だという説明でした。

駐輪場所は公園内の歩道部分というが

区の説明では、「公園に面する道路に近いところに公園を通られる歩道上空地、公園の施設と一体となつているところ、植栽のところに平面的な駐輪場として確保したい。今年度と来年度の2か年で設置したい」ということでした。

また、「住民の意見を聞きながら確定させて、年度内に完成する」といい、住民の声を聞き

ながら最終決定をしたい」と発言。

住民の運動を受け止めた結果で、寒い12月、1月の時期に座り込みを続けて区に対して『抗議』を続けた結果ではないでしょうか。

しかし、100台ではまだまだ十分ではありません。抜本的な改善ができるまで住民のみなさんと手をつないで頑張ります。



品川区役所前で工事中止を求めて訴える

コミュニティバス また 慎重に検討したい 区民の利便より採算を優先

八潮の住民から提出された「区内を循環するコミュニティバス求める請願」は、6月30日の建設委員会で審議されました。区は相変わらず「慎重に検討」と言い、共産党だけが賛成で自・公・民と無所属の反対で否決されました。

交通弱者の切ない気持ちを理解しない 冷たい姿勢

2010年以来13回目になるコミュニティバスの実現を求める請願が、第2回定例会にも住民から提出されました。

共産党の飯沼議員は「外出することで高齢者が元気に暮らせる。区民の健康にとっても役に立つ事業に税金を使っていたらいい。区が拒む理由がわからない」と繰り返し質問しながら実現を求めました。

しかし、区は足腰の弱い高齢者なら別の方法を考えるべきとか、自分の家から希望するところまで行きたい人に、バスの実現をなどは難しいと歪曲した答弁でした。区民の願いを真摯に受け止めようとし

ない姿勢は不誠実です。

いつまで「慎重に検討」と言い続けるのか

不誠実さの二つ目は、毎回、「慎重に検討する」という答弁を繰り返している点です。

区は、「コミュニティバスが結論とは考えない」と明確にいい、その理由を「既存の路線バスと共存して採算とるのは難しい」といいます。

区民が求めているのは、民間事業者が運行しない不採算などでも運行して、交通弱者の利便性を考えてほしいということです。

区は、「八潮地域はバス停まで300mでいけるので便がいい」と説明

しますが、団地内の利便性を求めているのではなく、八潮以外の地域に行くためにコミュニティバスを求めているのです。区民の気持ちを理解しないだけでなく、慎重に言うべきです。



江戸川区のコミバス

生活・雇用・子育て・教育など何でもお気軽にご相談ください

連絡先

南恵子区議会議員

電話(3790)1523